津屋崎小学校

令和８年度全国学力学習状況調査の結果公表について

令和８年度の全国学力・学習状況調査（４月実施、国語・算数、６年生対象）の結果が届きました。福津市教育委員会の方針に基づき、本校の結果についてお知らせします。なお、本調査結果がすべての学力を表しているのではなく、特定の一部分であることを申し添えます。

国　語

国語は、全国平均をやや下回っていました。「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字を文章の中で正しく使うことができていました。一方、「知識・技能」の「比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうか」を問う問題に課題がありました。

算　数

算数は、全国平均をやや下回っていました。示された情報をもとに、数量関係に着目して条件に合う答えを求めることはできていました。一方、「思考・判断・表現」の「示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうか」を問う問題に課題がありました。

国語、算数ともに、思考・判断・表現を支える基礎基本の定着を一層図りつつ、いわゆる「非認知的能力」と言われる、子どもたちの「ねばり強く挑む力」や「自己有用感・自己効力感」などを含む「学びに向かう力」等を今後も継続して大切にしていきます。

児童質問紙（生活や学習についての意識調査）※主な項目を抜粋

児童質問紙は、肯定的回答の合計を比較したもので、福津市の「めざす子ども像」６項目から抜粋して報告します。多くの項目において、全国と比べて同等の結果となっています。

◇「将来の夢や希望をもっている」に関しては、全国平均とほぼ同じです。

◇「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」に関しても、全国平均とほぼ同じです。

今後の取組と改善

○　主体的に学ぶことができる授業の充実

自分で課題を見いだしたり、複数の課題から選択・自己決定したりするなど、自分自身で考え、判断し、行動できるような場面を授業に位置づけていきます。また、「やってみたい！」「できるようになりなりたい！」など、学びへの期待を高める授業の導入場面を中心に工夫を行っていきます。デジタルツール等も活用し、説明したりプレゼンテーションしたりするような学習をより一層充実させていきます。

○　子どもに基礎基本の定着を図る取り組みの充実

基礎基本の定着に関しても、授業内だけではなく、子どもの思考に働きかける教室環境の整備やブロッコタイム等、学校教育全体を通じて取り組みを行っていきます。毎年実施しているチャレンジタイム：旧ブロッコタイム（保護者ボランティアと協働で基礎基本的な内容の習熟を図る学習）では、学年ごとに必要なタイミングで必要な内容を定着できるようにしていきます。

令和８年度福岡県学力実態調査の結果公表について

令和８年度の福岡県学力実態調査（５月実施、国語・算数、５年生対象）の結果が届きました。福津市教育委員会の方針に基づき、本校の結果についてお知らせします。なお、本調査結果がすべての学力を表しているのではなく、特定の一部分であることを申し添えます。

国　語

国語は、県平均と比べてやや下回っています。「情報の扱い方、我が国の言語文化」に関しては、県平均とほぼ同じでした。一方で、「思考・判断・表現」の文の構成を理解し、適切な形に書き換える問題に課題があります。

算　数

算数は県平均と比べて、下回っています。記述式の問題に関しては、県平均とほぼ同じでした。一方で、「思考・判断・表現」の組み合わせたグラフからデータの特徴を捉える問題に課題があります。

基礎・基本の定着を一層図るとともに、国語や算数での学びを社会や総合的な学習の時間等の他教科（領域）に生かし、発表の機会をより多く設けることで、課題解決を図ります。

今後の改善の取組

○　主体的に学ぶことができる授業の充実

自分で課題を見いだしたり、複数の課題から選択・自己決定したりするなど、自分自身で考え、判断し、行動できるような場面を授業に位置づけていきます。また、「やってみたい！」「できるようになりなりたい！」など、学びへの期待を高める授業の導入場面を中心に工夫を行っていきます。デジタルツール等も活用し、説明したりプレゼンテーションしたりするような学習をより一層充実させていきます。

○　子どもに基礎基本の定着を図る取り組みの充実

基礎基本の定着に関しても、授業内だけではなく、子どもの思考に働きかける教室環境の整備やブロッコタイム等、学校教育全体を通じて取り組みを行っていきます。毎年実施しているチャレンジタイム：旧ブロッコタイム（保護者ボランティアと協働で基礎基本的な内容の習熟を図る学習）では、学年ごとに必要なタイミングで必要な内容を定着できるようにしていきます。